

5月

ジャンル	配本日	ISBN 9784591	書名	著者	予価	判型	頁数	著者紹介	内容紹介
文芸	5月20日	181805	なんどでも生まれる	彩瀬まる	1680	四六並製	240	1986年千葉県千葉市生まれ。上智大学文学部卒業後、会社勤務を経て2010年「花に眩む」で「女による女のためのR-18文学賞」読者賞を受賞しデビュー。著書に『くちなし』（直木賞候補、第5回高校生直木賞受賞）『やがて海へと届く』『新しい星』『あのひとは蜘蛛を潰せない』『まだ温かい鍋を抱いておやすみ』など。	外敵に襲われ逃げ出したところを、茂に助けられたチャボの桜。教材販売会社の社員だった茂は、仕事も人間関係もうまくいかず、祖父の営む東京下町にある金物店の二階に居候している。ある日、茂を外へ連れ出してくれる相手を探して外へ出た桜は、さまざまな出会いを引き寄せることに――。鳥の視点で、ままならない人の営みや自然界のシビアな理を描きつつも、たしかに存在する希望の光を豊かに軽やかに謳う、著者の新境地！
文芸	5月20日	181812	ヒカリノオト	河邊徹	1600	四六並製	328	1988年兵庫県生まれ。関西学院大学文学部卒。バンドWE A V E Rのドラマーとして2009年にメジャーデビュー。バンドでは作詞を担当。2018年5月に『夢工場ラムレス』で小説家としてデビュー。2作目の『流星コーリング』が、第10回広島本大賞（小説部門）を受賞	ファンだったアーティストの担当になった若手レコード会社社員、期待に応えようとするあまり、心身を壊してしまった40代手前の女性、恋の予感にときめくカメラマン、合唱コンクールで曲のアレンジを任せられた女子高生、リサイクルショップで壊れた物を修理し続ける男性――。彼らの人生の岐路に寄り添っていた一つの音楽が、場所や時間を超え広がっていく奇跡を、ミュージシャンとしての経験を持つ著者が描いた連作短編小説。
文芸	5月27日	181775	町なか番外地	小野寺史宜	1800	四六並製	256	千葉県生まれ。2006年『裏へ走り蹴り込め』でオール讀物新人賞を受賞。2008年、『ROCKER』でポプラ社小説大賞優秀賞を受賞。著書に『みつばの郵便屋さん』シリーズ、『ライフ』（以上、ポプラ社）、『夜の側に立つ』（新潮社）、『ひと』（2019年本屋大賞ノミネート作品／ともに祥伝社）などがある。	マッチングアプリで知り合った二人目と別れたばかりの佐野朋香（28歳）。妻とも娘ともうまくいかず、仕事も行き詰まる片山達児（42歳）。むかしの仲間が若くして亡くなったことを知り、思い出を大切な人に伝えようとする青井千草（30歳）。後輩の陰口にショックを受けて会社を辞め、半年が過ぎた新川剣矢（28歳）――。平凡な暮らしが揺れ始め、岐路に立つ四人。行き違い重なりあう日々の揺らめきが静かに響く物語。
エッセイ	5月20日	181591	自分は、家族なしでは生きていけません。	あばれる君	1400	四六並製	208	1986年 9月 25日生まれ。福島県出身 2009年にデビュー。「R-1くらんぱり 2015」決勝に進出。2020年 5月より自身の YouTubeチャンネルでポケモンのゲーム実況を開始。高校時代は登山部でインターハイ出場。中学社会科と高校世界史の教員免許を所持。2022年に合格率 20%の世界遺産検定1級合格。現在は気象予報士試験合格に向けて奮闘中。妻ゆかちゃんと2人の息子との4人暮らし。	あばれる君はじめての書き下ろしエッセイ！ 愛妻・ゆかちゃんとの出会い、2人の息子「ちびれる君」たちとの触れ合い、アマチュア芸人時代の熱意と苦悩、厳しい両親への反発、合格率5%の難関・気象予報士挑戦……。家族を愛するとは。芸人として生きるとは。誠実に生きるとは。あばれる君のまっすぐな人柄があふれる1冊。
実用	5月13日	181744	午前7時の朝ごはん研究所	小田真規子、スケラッコ	1400	四六並製	192	料理研究家。栄養士。度重なる試作・研究の末に、食材や調理の原理原則を独自に導き出して概念化し続けてきた。『料理のきほん練習帳』（高橋書店）は、シリーズ50万部を超え、ロングセラーに。2016年料理レシピ本大賞inJapan 準大賞を受賞した『一日がしあわせになる朝ごはん』（文響社）など著書は100冊以上。	朝は「料理」じゃなくていい。朝食には5つのピースがあった！ 水分・やさしさ・エネルギー・体温・栄養。何かが欠けているいつもの朝に、このピースをばちんとはめると、爽快で気持ちいい一日がすごせる。残りの人生「全朝食」が確実においしく便利になる、習慣になるレシピ&新常識が159アイデア。読めば朝起きるのが楽しみになり、レポートリーが増えまくる。朝食は料理にあらず「パズル」なり。

6月

ジャンル	配本日	ISBN 9784591	書名	著者	予価	判型	頁数	著者紹介	内容紹介
文芸	6月17日	182062	彼女が生きてる世界線！	中田永一	1800	四六並製	632	2008年、『百瀬、こっちを向いて。』で単行本デビュー。11年には『くちびるに歌を』で第六十一回小学館児童出版文化賞を受賞。それらの作品のほか、『吉祥寺の朝日奈くん』が映画化され話題を呼ぶ。ほかの著書に『私は存在が空気』『ダンデライオン』がある。	交通事故に遭い、アニメの悪役に転生した「僕」には、ある計画があった。ヒロインを、死ぬエンディングから救うのだ。生前このアニメのファンであり、シナリオを知り尽くした「僕」なら、その運命も変えられるはずだと考えていた。だが、シナリオ通りに病気は進行しはじめ――。「僕」は「神（シナリオライター）」が残した生存ルートを探し出せるのか。人気作家・中田永一が、創作へのリスペクトと怒りを込めて描く感動の大長編！